

令和5年度 第2回 大和郡山市国民健康保険運営協議会 会議録要旨

日 時	令和6年2月15日(木) 午後1時30分から2時30分まで							
場 所	大和郡山市役所 4階 大会議室							
出席者	委員	瀧川委員	稲塚委員	中筋委員	吉岡委員	松下委員	村上委員	西崎委員
		柿崎委員	松本委員	槌谷委員	胡内委員	壺井委員	福田委員	吉川(幸)委員
	事務局	上田委員	下地委員	植松委員	吉川(史)委員	岡田委員	桐山委員	
欠席者	乾 市民生活部長 細川保険年金課長 堀 保険税係長 井岡 給付係長 岡本 奥田 南(諒)							
前田委員	西崎委員							遊田委員
案 件	(1)大和郡山市国民健康保険税条例の一部改正(案)について (2)第3期データヘルス計画の策定について (3)令和6年度大和郡山市国民健康保険事業特別会計予算(案)について							
諮問事項	<p>案件(1)に関し、 大和郡山市国民健康保険税条例の一部改正(案)について、適当なものと認める。</p> <p>案件(2)に関し、 第3期データヘルス計画の策定について、適当なものと認める。</p> <p>案件(3)に関し、 令和6年度大和郡山市国民健康保険事業特別会計予算(案)について、適当なものと認め、原案了承とする。</p> <p><主な質疑および意見は次のとおり></p> <p>【質問】</p> <p>①保険税率を上げるにあたって、一般会計からの繰入や基金を活用することで、市独自の減免などを検討できないのか。 →税率軽減や独自の減免は、県内の保険料率統一の趣旨に反するので難しいと考える。 また基金については、医療費の増大が保険料率の上昇につながることから、医療費抑制のため保健事業に充当していきたい。</p> <p>②保険証の廃止にあたってはトラブルが予想されるが、どういった対応を考えているか。 また、資格確認書を全員に交付することはできないのか。 →全員に画一的に資格確認書を交付することは難しいと考える。混乱が生じないように、個々の状況や時期を考えながら、適切に案内を実施する。</p> <p>③システム改修費は、マイナ保険証導入に係るコストとのことだが、この改修が終わった後、再来年には元の水準に戻るのか。 →法改正があれば対応する必要があるが、現状のままなら今回の経費は無くなる。</p> <p>④医療費抑制の取り組みとして、医師、患者双方に意識の改善が必要と思うが、その辺りの取り組みはどうか。 →市の広報誌などを通じて、健康づくりについての一般的な健康啓発について発信している。今後とも啓発に取り組んでいく。</p> <p>【意見】 被保険者に対して、先発医薬品から後発医薬品に切り替えた場合の差額について通知を送っていると思うが、現在、薬価改定等により後発医薬品が不足しており、後発医薬品を希望されても、医療機関では対応できないこともある。ご理解いただきたい。 →いただいた意見をもとに、差額通知を見直したい。</p>							
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・「令和5年度国民健康保険事業特別会計決算見込みについてについて」 ・「国民健康保険税の軽減拡大について」 ・「運営協議会委員報酬の支払方法変更について」 <p>以上について、事務局より報告を行った。</p>							